

令和6年度 人間市学童保育室の自己チェックシート(学童保育室用)

施設名: 直営学童保育室(20施設)

＜自己チェックの進め方＞
①各施設単位で、運営の内容について確認します。
②各チェック項目について育成支援の記録を見ながら振り返ってください。
③その際、別紙「自己チェックリスト」にある『評価の着眼点』を目安にしてください。また、併せて「人間市立学童保育室育成支援指針」も参考にしてください。
④各チェック項目を振り返った結果は、以下の要領で「結果」欄に記入してください。
例えば「○:できている(評価の着眼点の事項が全てできている)」「△:一部できている(評価の着眼点の事項が一部できている)」「×:できていない(評価の着眼点の事項がほとんどできていない)」といった三段階で評価してください。なお、評価の対象に当てはまらない場合は、「－:該当しない(評価の対象に当てはまらない)」を選択してください。
⑤○、△、×すべての評価について、その結果に至った理由(なお、評価が△、×だった場合は改善に向けた対策案など)をコメント欄に必ず記入してください(100字以内)。職員間で評価結果や気づき、よりよい育成支援の視点等を共有する際に役立ちます。

I 総則、職員の資質向上、事業の対象となる子どもの発達に対応する項目

区分		チェック項目	結果		主なコメント
1	趣旨	○「放課後児童クラブ運営指針」の趣旨を理解している。 ○「人間市立学童保育育成支援指針」の趣旨を理解している。	○	19	・学童保育室の職員全員が、趣旨を理解した上で年間行事を考え実践している。 ・自己評価を行うことで再度確認している。 ・年間を通して、学童保育室全体では確認する機会がない。
			△	1	
			×	0	
			－	0	
2	放課後児童健全育成事業の役割	○放課後児童健全育成事業(学童保育室)の役割を理解している。	○	20	・職員間で共通理解のもと子どもたちが安全・安心に過ごせるよう支援に当たっている。 ・保護者も案思惟できる空間づくりを心掛けている。
			△	0	
			×	0	
			－	0	
3	学童保育室における育成支援の基本	(1)学童保育室における育成支援	○	19	・基本的生活習慣が身につくように、保護者と協力して支援に当たっている。 ・子どもの成長に合った支援を行っている。 ・発達段階に応じた支援の場が不足している。
			△	1	
			×	0	
			－	0	
		(2)保護者及び関係機関との連携	○	16	・必要に応じて保護者や学校と連絡を取り、子どもの情報を共有している。 ・子どもの特性をつかみ、支援に当たっている。 ・一部の学校で連携体制が整えられていない。
			△	4	
			×	0	
			－	0	
		(3)放課後児童支援員等の役割	○	20	・研修や職場内OJT等により、全職員が育成支援の役割を理解し、支援している。 ・支援員も補助員も同様の役割を担うよう努めている。 ・全職員が同じ方向で保育に当たるよう努めている。
			△	0	
			×	0	
			－	0	
		(4)学童保育室の社会的責任	○	20	・子どもの意見を取り入れながら、遊びや生活面に反映させている。 ・全職員が社会的責任を理解し、子どもの人権に配慮しながら、一人ひとりの人格を尊重して育成支援をしている。 ・遊びや製作においても、子どもの選択や決定する意思を尊重し、保障することを理解している。
			△	0	
			×	0	
			－	0	
4	学童保育室の社会的責任と職場倫理	(1)社会的責任・職場倫理	○	20	・施設職員全員が倫理を自覚して育成支援に当たっている。 ・職員の言動は子どもや保護者に大きな影響を与えるため、職員間で話し合いながら、仕事を進める上での倫理を自覚し、育成支援の向上に努めている。 ・チームワーク強化を図っている。
			△	0	
			×	0	
			－	0	
		(2)法令遵守のための組織的取組	○	20	・研修やOJTを通して理解を深めている。 ・法令順守するとともに、施設職員全員が相互に協力し事業内容の向上に努めている。
			△	0	
			×	0	
			－	0	
5	要望及び苦情への対応	○子ども及び保護者からの要望や苦情に、迅速に対応する仕組みを整えて対応している。	○	20	・電話、お迎え時の会話、、面談等で保護者からの要望・意見・心配事を聞き、迅速かつ適切に誠意をもって対応している。 ・保護者からの苦情に関しては、すぐに対応し解決に努めている。 ・要望については、職員、市と相談しながら迅速に対応している。
			△	0	
			×	0	
			－	0	
6	事業内容向上への取り組み	(1)職員集団のあり方	○	20	・施設職員全員で保育の振返りや進捗状況などを共有し、対応策の確認を日々行い、事業内容の向上に努めている。 ・全体での打合せの内容をフィードバックして話し合うことで、内容の向上を図っている。
			△	0	
			×	0	
			－	0	
		(2)研修等	○	13	・市内学童のグループごとにミーティングを開き意見交換や情報交換、自己研鑽に努めている。 ・経験に応じた研修が必要である。
			△	7	
			×	0	
			－	0	
		(3)運営内容の評価と改善	○	15	・自己評価により運営内容を見直し、事業内容の向上に努めている。 ・振り返りを行い、向上に努めているが、結果として事業内容に生かされていないこともある。
			△	5	
			×	0	
			－	0	
7	子どもの発達理解	○放課後児童支援員等は、子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、育成支援を行っている。	○	18	・青少年課主催研修や放課後児童支援員研修などに参加し、子どもの発達について学んでいる。 ・子どもの発達の特徴や発達過程を理解し育成支援に当たっている。 ・発達理解に関して定期的に学べる機会は少ない。
			△	2	
			×	0	
			－	0	

Ⅱ 放課後児童クラブにおける育成支援の内容、学校及び地域との関係に対応する項目

区分			チェック項目	結果		主なコメント
1	育成支援の内容	(1) 育成支援の内容	○ 育成支援の内容について理解している。	○	19	・全職員が指針の内容を理解している。 ・日々の保育の中で確認し、自己評価の際に再確認している。 ・指針に関する研修が少ない。
				△	1	
				×	0	
				－	0	
		(2) 育成支援の留意点	○ 育成支援の留意点を理解し、支援を行っている。	○	19	・子どもたちの発達段階を考慮し、自主性・主体性を尊重した保育を大切にしている。 ・職員で連携し、様々な手法を模索しながら支援を行っている。 ・多くの子どもを同時に保育している中で、適切な対応をさらに迅速に行うための連携改善に努めなければならない。
				△	1	
				×	0	
				－	0	
2	障がいのある子どもへの対応	(1) 障がいのある子どもの受入れの考え方	○ 障がいのある子どもの受入れの考え方を理解し、可能な限り受入れに努めている。	○	17	・市の基準に基づき、受入れを行っている。 ・関係機関と連携を取りながら、可能な限りの受け入れに努めている。 ・施設的に整っていない箇所がある。
				△	3	
				×	0	
				－	0	
		(2) 障がいのある子どもの育成支援に当たった留意点 ※1	○ 障がいのある子どもの育成支援に当たった留意点を理解し、育成支援を行っている。	○	16	・小学校や保護者に育成履歴を確認しながら保育に当たり、その子の特性に合わせながらも、他の子も過ごしやすくなるよう配慮している。 ・子どもの自主性や主体性を尊重している。 ・児童発達支援センター等の専門機関による指導を受けている。
				△	0	
				×	0	
				－	4	
3	特に配慮を必要とする子どもへの対応	(1) 児童虐待への対応 ※2	○ 児童虐待の早期発見の努力義務があることを理解し、保護者の不適切な養育や児童虐待が疑われる場合には、関係機関と連携し、適切に対応している。	○	12	・必要に応じて学校や青少年課、こども支援課と相談し対応に当たっている。 ・子ども一人ひとりと信頼関係を築くことで、子どもからの相談にも応じている。
				△	0	
				×	0	
				－	8	
		(2) 特別の支援を必要とする子どもへの対応 ※3	○ 家庭での養育について特別な支援が必要な子どもには、関係機関と連携して適切に支援を行っている。	○	11	・子どもの家庭状況と発達状況に配慮しながら、関係機関と連絡を取り合い、慎重に適切な支援ができるように努めている。
				△	0	
				×	0	
				－	9	
		(3) 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たった留意事項	○ 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たっては、プライバシーの保護や秘密保持に留意している。	○	20	・守秘義務を厳守し、情報漏洩がないよう職員間で確認している。当該児童には、子どもの利益に反しない限りにおいて、プライバシーの保護、業務上知りえた事柄の秘密保持に留意している。
				△	0	
				×	0	
				－	0	
4	保護者との連携	(1) 保護者との連絡	○ 各種連絡手段を活用して、子どもの出欠席、遊びや生活の様子について保護者と情報を共有している。	○	20	・電話連絡、安心でんしゃぼとのメッセージ、学童だよりなどで日々の子どもの様子を伝えている。 ・お迎えの際に子どもの状況について伝えている。
				△	0	
				×	0	
				－	0	
		(2) 保護者からの相談への対応	○ 保護者と信頼関係を築き、相談に適切に対応している。	○	19	・送迎時など直接言葉を交わしている。それ以外にも詳しく話をしたい時には、学童内に入ってもらいゆっくり話をしている。 ・話しやすい、相談しやすい環境を整えている。
				△	1	
				×	0	
				－	0	
		(3) 保護者及び保護者組織との連携	○ 保護者との協力関係を構築するとともに、保護者組織と連携している。	○	14	・学童保育室の行事や運営に協力していただいている保護者がいる。工作の材料や使わなくなったおもちゃなどの寄付もいただいている。 ・保護者組織はないため、組織的な連携はない。
				△	6	
				×	0	
				－	0	
5	育成支援に含まれる職務内容と運営に関わる業務	(1) 育成支援に含まれる職務内容	○ 育成支援に係る職務を実施している。	○	19	・学童保育室の目標を設定し、年、月、週案をもとに育成支援をしている。 ・日々の子どもの状況や育成支援の内容を記録している。 ・職場内で情報を共有し、事例検討を行って、育成支援の内容の充実・改善に努めている。
				△	1	
				×	0	
				－	0	
		(2) 運営に関わる業務	○ 運営に関わる業務を実施している。	○	20	・保育日誌、引継ぎ、ミーティング、おやつ発注、子どもノートの記録等を行っている。 ・保育環境の整備、各種行事の企画立案、学童だより等の発行、保護者・学校との連絡調整、シフト作成等を実施している。
				△	0	
				×	0	
				－	0	
6	学校との連携	(1) 学校との連携	○ 情報交換や情報共有、学校施設の利用等、学校との連携を図っている。	○	18	・学校だより等を通じて学校行事や帰宅時間を把握している。 ・一部の行事や運動会などを見学している。 ・学級担任や教頭先生との懇談により、子どもの様子を把握している。 ・校庭等を借用して日々保育をしている。 ・年に一度の情報交換にとどまっている。 ・一部、学校との連携体制が整っていない学童がある。
				△	1	
				×	1	
				－	0	
		(2) 学校との連携におけるプライバシーの保護	○ 学校との連携にあたって、個人情報や秘密保持について予め取り決めている。	○	18	・「放課後児童クラブ運営指針」に基づき守秘義務に即した対応をしている。 ・一部、学校との連携体制が整っていない学童がある。
				△	1	
				×	1	
				－	0	
7	保育所、幼稚園等との連携		○ 情報交換や情報共有等、保育所・幼稚園等との連携を図っている。	○	17	・新1年生について、子どもの発達と生活の連続性を保障するために、保育所、幼稚園等と子どもの状況、特性等について情報共有を図っている。 ・情報交換を円滑にできない保育園等が一部あった。
				△	3	
				×	0	
				－	0	
8	地域、関係機関との連携		○ 地域組織や子どもに関わる関係機関等との連携を図っている。	○	11	・近隣の児童館、公園、神社などで施設外保育を行い、関わりを持つことはできたが、情報交換をするまでの関係構築には至っていない。 ・消防、警察等の関係機関と連携を図り、安全を確保する取り組みを行っている。 ・地区センターや放課後子ども教室と連携し新しい体験を実施している。 ・近隣の福祉施設との交流を行っている。 ・地域組織との関わりがほとんどなかった。
				△	9	
				×	0	
				－	0	
9	学校を活用して実施する学童保育室 ※4	学校施設を活用して実施する放課後学童保育室	○ 学校施設を活用して学童保育室を実施する上での留意事項を理解し、適切に対応している。	○	17	・学年の授業時間には静かに過ごすよう状況に対応した保育を心掛けている。 ・ルールを守った使用を心掛けている。 ・施錠等には細心の注意を払っている。 ・日々の水質検査の結果を学校に報告している。
				△	0	
				×	0	
				－	3	

※1、2、3 について、上記にも記載がありますが、該当の児童がいない場合は「－:該当しない(評価の対象に当てはまらない)」を選択してください。なお、該当しない場合はコメントへの記入も不要です。

※4 対象:学校施設を活用している学童保育室のみ記入してください。

Ⅲ 施設及び設備、衛生管理及び安全対策に対応する項目

区分		チェック項目	結果		主なコメント
1	衛生管理及び安全対策	(1) 衛生管理	○	20	・おやつ提供に際しては、保管、提供など衛生管理を徹底している。 ・おやつについては、できるだけ個包装のものを選び提供している。 ・感染症等の対策については、手洗い、うがいを促し、ビデオ等で注意喚起している。
			△	0	
			×	0	
			－	0	
		(2) 事故やケガの防止と対応	○	20	・マニュアルを作成している。 ・研修で怪我・病気への対応を習得している。 ・施設内の危険箇所を職員で確認し、職員の配置や修繕などを行っている。
			△	0	
			×	0	
			－	0	
		(3) 防災及び防犯対策	○	20	・防災・防犯訓練を実施している。 ・災害時初期対応マニュアルを用意し、職員で共有している。 ・子どもたちには、ビデオや紙芝居をみせて意見交換している。 ・災害発生時には、子どもの安全確保を最優先することにしてる。
			△	0	
			×	0	
			－	0	
		(4) 来所及び帰宅時の安全確保	○	20	・毎日帰宅時間を把握している。 ・ビデオ等で子どもたちへの注意喚起をしている。 ・必要に応じて保護者や学校と連絡を取り合い安全を核をしている。 ・不審者情報を保護者と共有し、帰宅時の安全確保の呼びかけや発信を行っている。
			△	0	
			×	0	
			－	0	